

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【公開番号】特開2005-343228(P2005-343228A)

【公開日】平成17年12月15日(2005.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-049

【出願番号】特願2004-162451(P2004-162451)

【国際特許分類】

B 6 2 J 39/00 (2006.01)

【F I】

B 6 2 J 39/00 F

B 6 2 J 39/00 K

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月13日(2007.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

運転者の前方に車速若しくは走行距離などの運転情報を表示するメータ表示部を設け、このメータ表示部の両側に左右のスピーカを設けた自動二輪車において、

前記左のスピーカを、前記メータ表示部の左に配置した中・低音を再生する左の中・低音用ユニットと、これらのメータ表示部及び左の中・低音用ユニットの間に配置した高音を再生する左の高音用ユニットと、から構成するとともに、

前記右のスピーカを、前記メータ表示部の右に配置した中・低音を再生する右の中・低音用ユニットと、これらのメータ表示部及び右の中・低音用ユニットの間に配置した高音を再生する右の高音用ユニットと、から構成ことを特徴とする自動二輪車の音響装置。

【請求項2】

前記メータ表示部の外形の上部稜線を左右に延ばして延長線を描くときに、この延長線の車体下方に前記左右の高音用ユニットを配置したことを特徴とする請求項1記載の自動二輪車の音響装置。

【請求項3】

前記左右の高音用ユニットを、運転者へ指向させて配置したことを特徴とする請求項1又は請求項2記載の自動二輪車の音響装置。

【請求項4】

前記左右の中・低音用ユニット及び前記左右の高音用ユニットに、オーディオ機器を接続したことを特徴とする請求項1、請求項2又は請求項3記載の自動二輪車の音響装置。

【請求項5】

前記左右の高音用ユニットを、前記左右の中・低音用ユニットより車幅方向内側に配置したことを請求項1記載の自動二輪車の音響装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項４に係る発明は、左右の中・低音用ユニット及び前記左右の高音用ユニットに、オーディオ機器を接続したことを特徴とする。

左右の中・低音用ユニット及び前記左右の高音用ユニットに、オーディオ機器を接続することで、英会話や音楽などを臨場感あふれる音で聞くことができる。

請求項５に係る発明は、左右の高音用ユニットを、左右の中・低音用ユニットより車幅方向内側に配置したことを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１８】

請求項４に係る発明では、左右の中・低音用ユニット及び前記左右の高音用ユニットに、オーディオ機器を接続したので、英会話や音楽などを臨場感あふれる音で聞くことができる。

請求項５に係る発明では、左右の高音用ユニットを、左右の中・低音用ユニットより車幅方向内側に配置した。